

俄藏敦煌文獻中に発見された禪籍について(3)-2

程 正

小論(3)-1の目次(『駒澤大學禪研究所年報』第32号に掲載済)

一、俄藏敦煌禪宗文獻に関する従來の研究

二、俄藏敦煌文獻中から発見された禪籍について(承前)

燈史類

1、楞伽師資記(Дx11901の1号)

語録類

2、蘄州忍和上導凡趣聖悟解脱宗修心要論(Дx3117の1号)

3、修禪要決合四十五條(Дx8964、Дx8966、Дx8974の3号)

4、大乘五方便北宗(Дx4489の1号)

5、天竹國菩提達摩禪師論(Дx11668の1号)

6、頓悟眞宗金剛般若修行達彼岸法門要決(Дx11623R,Vの1号2種)

7、南陽和尚問答雜微義(Дx9432の1号)

8、南陽和上頓教解脱禪門直了性壇語(Дx11587)

小論(3)-1に續く

注疏・偽經論類

9、註般若心經(江南禪師智融)¹(以下、『心經智融注』)(Дx6238の1号)

俄藏敦煌遺書に含まれる『心經智融注』については、俄藏拙稿①²においてДx149(M322)1種の存在を見出し、しかもそれはそのままでは結合できないものの、既知の『心經智融注』の北京本BD6146(董46、北4475)と同一寫本の別の部分であることをすでに報告した。

¹ 『分類目録』では、『心經智融注』のテキストとして① P2903、② P3131V、③ BD6146(董46、北4475)、④ Дx149(M322)の4種を紹介している。

² 俄藏拙稿①、39-40頁。

今回の調査において俄藏敦煌遺書より新たに『心經智融注』の寫本 1 種(殘片)を検出することができた。すなわち、Dx6238³ のことである。『俄藏敦煌』(13、56頁)に寫眞 1 枚で收められている Dx6238 は、その寫眞に基づいて紹介すれば、薄い罫入りの紙片に『心經』の本文「空即是色。受想行…」を冒頭に持つ凡そ 9 行ほどの文字が書寫されており、天頭はすべて残っているが、1 行目途中から 5 行目まで弧線を畫くように下半部が缺けているため、6 行目から最終行の 9 行目にかけて地脚が辛うじて残存しているものである。

ところで、筆者が改めて確認したところ、新出の Dx6238 は、既知の Dx149 の尾部に完全に結合できることが判明した。さらに驚いたことに、Dx6238 の出現によって Dx149 + Dx6238 + BD6146 という順序で見事に復元できるようになったのである。なお、録文に際して、『心經智融注』にある章の見出しと『心經』本文はポイントを上げて太字で表記した。

前缺

- 1 此^罫□ … □ /
- 2 見五蘊皆空、即是□ … □ /
- 3 岸不二。但見有也。□ … □ /
- 4 生死、即聖人也。□ … □ /
- 5 在菩薩、行深般□ … □ /
- 6 五蘊^罫皆空、^罫 /
- 7 是十二部經宗旨。觀□ … □ /
- 8 唯一佛。故不言觀者名□ … □ /
- 9 大菩薩不被五蘊所縛。故□ … □ /
- 10 用智慧時也。是身心法、受□ … □ /
- 11 菩薩用深智^罫時、照見身□ … □ /
- 12 實刑相可得故。得故□ … □ /
- 13 人也、身苦厄。无生死、則无色□ … □ /
- 14 是心苦厄。无受想行識、是无□ … □ /
- 15 所以有大患、爲吾身。及吾无身□ … □ /
- 16 苦厄也。又『涅槃經』云、「諸行无^罫□ … □ /

³ 『俄藏絃錄』(451頁)では、Dx6238 を「佛經論釋」としている。

17 以、寂滅爲樂」。是有諸行、爲心苦□ … □ /

18 是行、即无心苦厄也。 /

19 五蘊空章

20 舍利子、色不異空、空不異□ … □ /

Πx149 (M322)

1 空即是色。受想行□ … □ /

Δx6238

2 舍利子由言我之也。諸佛謂一切衆□ … □ /

3 呼而告之。凡夫見身心是有、故愛著□ … □ /

4 身心所縛、墜落惡道。聖人觀身心兩无一□ /

5 塵堅固相可得。故言「色不異空」也。空亦无□ /

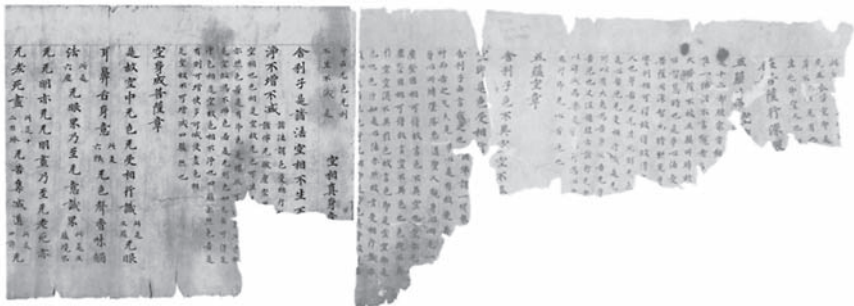
6 塵堅固相可得。故言「空不異色」也。色既不異 /

7 於空、空復不異於色。故言「色即是空、空即是 /

8 色」也。色身如是、心法亦然。故言「受想行識亦 /

9 復如是」。若見色身无相、即是妙色真身。故說法 /

以下の『心經智融注』の内容はすべて北京本 BD6146 に存す。



『心經智融注』の復元 :BD6146 首部 (左)+Δx6238 (中)+Πx149 (右)
 BD6146 は『國家圖書館藏敦煌遺書』82 より、Δx6238 は『俄藏敦煌』13 より、
 Δx149 は『俄藏敦煌』6 より轉載

10、般若心經疏(資州洗禪師)⁴(以下、『心經智洗疏』)(Δx1485、Δx6555 の 2 號)
 俄藏敦煌遺書中に含まれる『心經智洗疏』については、かつて俄藏抽稿

⁴ 『分類目録』では、『心經智洗疏』のテキストとして① S839、② S7821、③ S8351V、④ P2178V、

②(387~391 頁)においてDx290、Dx385、Dx1183、Dx5583V、Dx6148、Dx6149の6種の存在を紹介した。但し、このうちのDx6149は、『俄藏紋録』(446頁)によれば、Dx4821と結合可能で、『金剛經』の残片であるという。従って、『心經智詵疏』の寫本リストよりDx6149を除外すべきである。

ところで、筆者は俄藏敦煌遺書より『心經智詵疏』の寫本2種を見出した。すなわち、Dx1485(M199)⁵(『俄藏敦煌』8、203頁)とDx6555(『俄藏敦煌』13、132頁)の2種の残片のことである。まず『紋録』に著録されているDx1485(M199)の概要についてみてみよう。

殘卷, 22 × 18。部分手卷, 首尾缺。下邊沿破殘。有破洞。15行。紙色灰。畫行細。楷書。無題字。(8-10世紀)(下略)(上卷、77頁)

これによれば、Dx1485は首尾をともに缺く横22cm × 縦18cmの殘卷に、楷書體で約15行ほどの内容を書寫されているという。筆者が確認したところ、これが前掲拙稿「英藏敦煌文献から発見された禪籍について—S6980以降を中心に—(2)」(0157~0158頁)で紹介したS10238と結合可能な残片であることが判明したのである。15行ほどの内容が残っているDx1485に對し、S10238は横16.1cm × 縦11.4cmの罫入りの1紙の残片で、天頭と首尾が缺損しており、約12行の内容を有している。この両者の内容を結合してみると、以下の通りである。なお、各行の左側にある算用數字はDx1485の行數を、右側にある丸數字はS10238の行數をそれぞれ表している。

Dx1485(左)

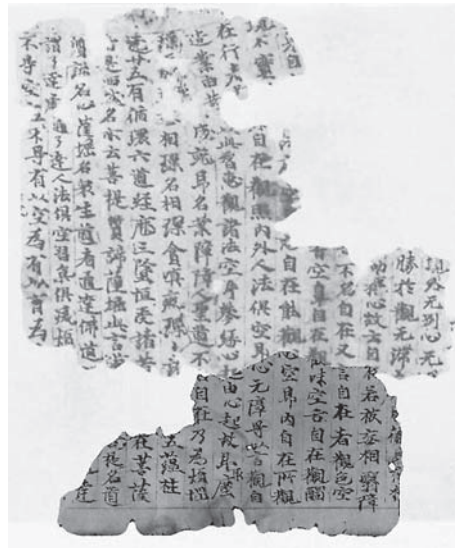
前缺

| | | |
|-----------------|---------------|-----------|
| 1 □ … □ 境 | 外无別心无 □ … □ / | |
| 2 □ … □ 勝於觀无滯 □ | 明徹即妄相 ① | S10238(右) |
| 3 □ … □ 物稱 | 心故云自 | 在若被妄相翳障 ② |
| 4 □ … □ 不名自在又 | 自在者觀色空 ③ | |

⑤ P3229V、⑥ P4940、⑦ BD3652(爲52、北4489)、⑧ BD4909(闕9、北4491)、⑨ BD9110(陶31)、⑩ BD9222(唐43)、⑪ Dx290、⑫ Dx385、⑬ Dx1183、⑭ Dx5583V、⑮ Dx6148、⑯ Dx6149の16種を紹介している。その後、拙稿「英藏敦煌文献から発見された禪籍について—S6980以降を中心に—(2)」(『駒澤大學佛教學部研究紀要』76、2018、0154~0158頁)においてS8685、S9787、S10238、S10587Vの4種を新たに紹介している。但し後述するように、⑯ Dx6149は『心經智詵疏』テキストのリストから削除すべきである。

⁵ 『俄藏紋録』(154頁)では、Dx1485を「殘佛經」としている。

- 5 □ … □香空鼻自在觀 味空舌自在觀觸④
- 6 □身自□ … □空□意自在能觀心 空即內自在所觀⑤
- 7 境不實□□自在觀照內外人法俱空即 心无障碍以言觀自⑥
- 8 在行者□□□以此智惠觀諸法空即攀緣心 起由心起故即取塵⑦
- 9 造業由業成就即名業障障人聖道不 名自在乃為煩惱⑧
- 10 瓊□□□□相瓊名相瓊貪嗔癡瓊々 諸 □ … □五蘊柱⑨
- 11 邊廿五有循環六道經歷三塗恆受諸苦 □ … □在菩薩⑩
- 12 者是西域名亦云菩提質諦薩埵此言道 □ … □菩提名道⑪
- 13 質諦名心薩埵名衆生道者通達佛道 □ … □達⑫
- 14 謂了達虛通了達人法俱空習氣俱滅頌□ … □ /
- 15 不導空空不導有以空為有以有為□ … □ /
- 後缺



心經智洗疏 (Dx1485 上 +S10238 下)

Dx1485 は『俄藏敦煌』8 より、S10238 は IDP より轉載

さて、次の D_x6555 については、『俄藏紋録』(472 頁)がこれを『心經慧淨疏』としているが、筆者が精査した結果、これが『心經慧淨疏』ではなく、紛れなく『心經智誦疏』の 5 行ほどの内容を有している殘片であることを突き止めた。その内容は凡そ下記の通りである。

前缺

- 1 □□垂依般若波羅蜜多故心无罣礙无罣礙故无有□怖□ … □ /
- 2 想究竟卍卍 義云サ提名智サ埵名人有智之人名為ササ依□ … □ /
- 3 智惠也波羅蜜多者彼岸到也心无罣礙者由前觀照三乘□ … □ /
- 4 □□□窅蘊界入寸體性如恒无罣故者□罣前文福□ … □ /
- 5 □ … □罣為死之所怖故□ … □ /

後缺

筆者がさらに調査を進めたところ、なんと新出の D_x6555 が既知の D_x290、D_x385、D_x1183、D_x6148 の 4 種と本來同一寫本に屬するもので、しかもこれらの斷片を利用して結合できることが判明したのである。まず D_x290、D_x385、D_x1183 の 3 種が結合した状態で 4 枚の寫眞に分かれて『俄藏敦煌』(6、197~199 頁)に收められているため、これらの 4 枚の寫眞を(D_x290+D_x385+D_x1183) (4-1)~(4-4)というふうに便宜的に表記しておく。そうすると、上記 5 種の『心經智誦疏』の殘卷(以下、復元本)は、以下の順序で復元が可能となろう。

(D_x290+D_x385+D_x1183) (4-4) → D_x6148 → (D_x290+D_x385+D_x1183) (4-1) ~ (4-3) → D_x6555

本來、9 章⁶の内容を持つ『心經智誦疏』であるが、結合した復元本の内容は、凡そその「第五根塵體同名異分」の途中から「第七明舉勝明空離障分」の前半までの部分に相當している。

⁶ 第一初入觀門緣起分、第二了蘊虛通度厄分、第三空色一如無二分、第四垢淨唯眞無妄分、第五根塵體同名異分、第六三乘境觀俱空分、第七舉勝明空離障分、第八大智乘因至果分、第九護難流通神咒分の 9 章である。

11、金剛般若經註(擬)(Dx2272B、Dx2281+Dx2316+Dx2444(M1880)の4號)

金剛藏菩薩と名乗る北宗系の禪者による『金剛般若經註』については、『分類目録』ではS2511、P2216、敦研96の3種を紹介しているが、俄藏敦煌遺書での存在が確認できたのは今回が初めてである。すなわち、Dx2272B、Dx2281+Dx2316+Dx2444(M1880)の4種(『俄藏敦煌』9、127頁)のことである。このうち、Dx2281+Dx2316+Dx2444の3種は、『敍録』ではM1880と編目され著録されている。まず、その解題を見てみよう。

殘卷, 49 × 26。部分手卷, 首尾缺, 右上半部及左下半部均缺。27行, 不全。

紙色淡黄, 紙質厚。畫行細。天頭及地脚均爲2.5釐米。楷書, 注釋小字雙行。

無題字。(7-8世紀)(下卷, 65頁)

これによれば、Dx2281+Dx2316+Dx2444の3種は首尾及び右上半部、左下半部を欠いている横49cm × 縦26cmの殘片に、『金剛經』の本文を大文字で、そしてポイントを落として割注の形で注釋を寫しているものであるという。寫本のサイズや筆蹟などからすれば、新出のDx2272B、Dx2281+Dx2316+Dx2444の4種は元來ペリオ本のP2216と同一寫本の別の部分であろうとも考えられる。しかし、ロシア本の4種とペリオ本P2216の間になお脱落した内容があり、このままで結合することはできない。そこで、新出のロシア本のテキストを紹介しておこう。なお【 】は割注の内容を表している。

前缺

1 □ … □起 /

2 □ … □肩【衆生偏着我□□ / 病行人以空無我】 /

3 □ … □【右肩者以 / □ … □擔也】右膝著地 /

4 □ … □掌【掌之言心心合 / 於道道合於心】恭敬 /

5 □ … □言【言是開示行人 / 心地法門無盡】希有 /

6 □ … □【能 / 身】如來善護念諸菩 /

7 □ … □善付囑諸菩薩【前 / 心】 /

8 □ … □善男子善女人【集理 / 之智】 /

9 □ … □【女】發阿耨多羅三藐三 /

10 □ … □【□ … □是無上菩提道心行 / □ … □心脩慧證得此法也】應云何住 /

11 □ … □云何降伏其心【衆生心性躁動 / 不停心去疾於】 /

12 □ … □【□風乱□多於 / 草□難可調伏】佛言善□ … □ /

(72) 俄藏敦煌文獻中に發見された禪籍について (3)-2 (程)

- 13 □ … □ 【□ … □ 意 / □ … □】 須菩提如汝 □ … □ /
14 □ … □ 來善護念諸善 □ … □ /
15 □ … □ 【□ … □ 言心心心數法皆 □ … □ / □ … □ 言累無量惑累 □ … □】
□ … □ /
16 誦聽【諦之言實 □ … □ / 心 □ … □】 □ … □ /
17 說善男 □ … □ /
18 □ 阿耨多羅 □ … □ /
19 住如是降伏 □ … □ /
20 【若能降心 / 便成正覺】 唯然世 □ … □ /
21 【無著之智 / 智惠無盡】 佛告 □ … □ /
22 提諸菩薩摩 □ … □ /
23 【生名菩薩節 □ … □ / □ 慧解發名摩 □ … □】 /
24 有一切衆生 □ … □ /
25 濕生若化生 【無 □ … □ / 濕 □ … □】 /
26 【名之爲化悟解 / 名佛不悟六道受生】 □ … □ /
27 □ 【若有色行人觀 □ … □ / □ 色滅空故 □ … □】 □ … □ /
後缺

12、佛爲心王菩薩說頭陀經(心王經註)〔心王經、頭陀經〕〔注釋本〕(以下、『心王經』)⁷(Dx16139 の 1 號)

俄藏敦煌遺書に含まれる『心王經』については、すでに曹凌氏、王孟氏⁸らによって Dx16997 の存在が明らかにされたが、『俄藏敍録』によって新たに Dx16139(『俄藏敦煌』16、283 頁)の 1 種が紹介されている。

Dx16139 については、『俄藏敍録』(875 頁)の記述によれば、4 行ほどの断片で、首尾、上下をともに缺いており、その内容は凡そ『藏外佛教文獻』(1、北京、宗教文化出版社、1994)85 頁 3~5 行目に相當しているという。含まれる少ない

⁷ 『分類目録』では、『心王經』のテキストとして、注釋を含まない〔素本〕に① Sch353(ソグド語)、② 津藝 171(77・5・4510)、③ Dx16997 の 3 種を、〔注釋本〕に④ S2474V、⑤ P2052、⑥ BD9746V(在 67)、⑦ BD9779V(坐 100)、⑧ BD15369(新 1569)、⑨ 日本三井文庫本の 6 種をそれぞれ紹介している。

⁸ 曹凌『中國佛教疑偽經綜録』(上海、上海古籍出版社、2011、344 頁)、王孟『敦煌佛教疑偽經綜録』(上海師範大學 2016 年博士學位請求論文、164 頁)。

文字数からみれば、Dx16139 はやはり注釋内容が含まれない『心王經』の素本と推定できよう。

13、佛說法王經⁹(以下、『法王經』)(Dx1109、Dx7105 の 2 號)

俄藏敦煌遺書に含まれる『法王經』については、『分類目録』では勝義、曹凌ら兩氏による研究成果¹⁰を踏まえつつ、Dx3968A 或 Dx3989、Dx5080、Dx5387、Dx5513、Dx6080、Dx6140、Dx6546、Dx9438 の 9 種を紹介している。その後、張小艶氏の「敦煌疑偽經三種殘卷綴合研究」(『浙江大學學報(人文社會科學版)』46-3、2016、21-34 頁)や蘇思遠氏の「俄藏敦煌文獻佛教疑偽經敘録」(西南大學 2017 年修士論文)などの優れた研究成果が陸續と發表されている。

本稿では、俄藏敦煌遺書にあつて『分類目録』では言及できなかった『法王經』の殘片である Dx1109(M1072)、Dx7105(2 種)を紹介した上で、俄藏の『法王經』殘片による寫本の復元を行った張小艶氏の研究成果に觸れておこう。

Dx1109 が『法王經』の殘片であることを最初に記したのは、『俄藏敦煌』であった。すなわち、『俄藏敦煌』(7、318 頁)に Dx1109 の寫眞 1 枚が掲載されたとともに、これが『法王經』の寫本であることも明記されている。Dx1109(M1072)の書誌學情報については、『敘録』では下記のように記されている。

殘卷, 26 × 18.5。手卷下部, 首尾缺。有破洞。15 行, 不全。紙色淡黃。畫行細。楷書。無題字。(8-10 世紀)(下略)(上卷, 419 頁)

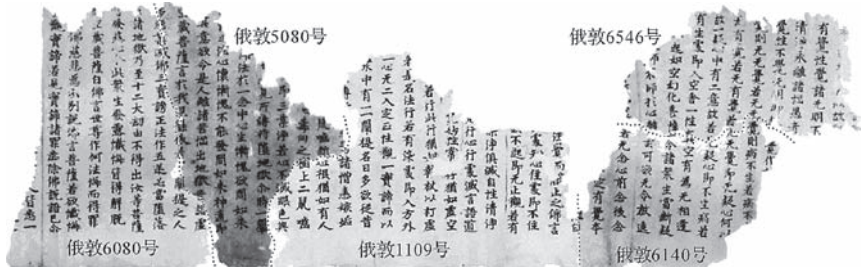
張氏は、この Dx1109 に加えて Dx6546、Dx6140、Dx5080、Dx6080 などの

⁹ 『分類目録』では、『法王經』のテキストとして敦煌漢文寫本の① S2692、② S7269、③ BD630(日 30、北 8278)、④ BD6326(鹹 26、北 8279)、⑤ BD6536(淡 36、北 8662)、⑥ BD10938(臨 1067)、⑦ BD14700(新 900)、⑧ BD15098(新 1298)、⑨ Dx3968A 或 Dx3989、⑩ Dx5080、⑪ Dx5387、⑫ Dx5513、⑬ Dx6080、⑭ Dx6140、⑮ Dx6546、⑯ Dx9438 の 16 種と、敦煌チベット語寫本の⑰ S222、⑱ S223、⑲ S264、⑳ S265、㉑ S267、㉒ P624、㉓ P2105V の 7 種と、敦煌ソグド語寫本の㉔ Psogdien23、㉕ O2326、㉖ O2922、㉗ O2437 の 4 種、チベット語文獻(西藏大藏經本)の㉘北京版、㉙デルゲ版の 2 種、計 29 種を紹介している。その後、前掲拙稿「英藏敦煌文獻から発見された禪籍について—S6980 以降を中心に—(2)」(0158-0159 頁)で S8438、S9791、S9896、S11321、S12368 の 5 種を、拙稿「ドイツ藏吐魯番(トルファン)漢語文書から発見された禪籍について(2)」(『駒澤大學佛教學部研究紀要』77、2019、013-014 頁)で吐魯番漢語寫本 Ch3194 の 1 種をそれぞれ新たに紹介している。

¹⁰ 勝義「『俄藏敦煌文獻』第十二册校讀記(上)」(『戒幢佛學』2、2002)と、前掲曹凌『中國佛教疑偽經綜録』を参照されたい。

(74) 俄藏敦煌文獻中に発見された禪籍について (3)-2 (程)

5種が元來同一の寫本に屬するものと特定した上で、これらの殘片による寫本の復元を試みられた。その結果を復元圖で示されたのが下圖である。なお復元後の『法王經』の内容は、T85-1386c16~1387a25に相當するという。



Дx6546+Дx6140+Дx1190+Дx5080+Дx6080 (T85-1386c16~1387a25)

張小艷「敦煌疑偽經三種殘卷綴合研究」

(『浙江大學學報(人文社會科學版)』46-3、2016)より轉載

このほか、張氏は俄藏『法王經』殘片による寫本の復元を精力的に行われ、その成果として、下記の2種がある。

(1) Дx3968+Дx5387+Дx3989(T85-1384c5~18)

(2) Дx9438+Дx5513(T85-1389c7~1390a10)

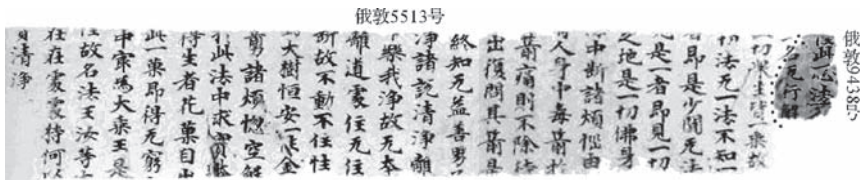
これらを復元圖で示せば以下の通りである。



Дx3968+Дx5387+Дx3989 (T85-1384c5~18)

張小艷「敦煌疑偽經三種殘卷綴合研究」

(『浙江大學學報 (人文社會科學版)』46-3、2016) より轉載



Дx9438+Дx5513 (T85-1389c7~1390a10)

張小艷「敦煌疑偽經三種殘卷綴合研究」

(『浙江大學學報 (人文社會科學版)』46-3、2016) より轉載

さて、次の『法王經』の殘片Дx7105(『俄藏敦煌』13、254頁)については、『俄藏敍録』(507頁)の記述に基づいて紹介すれば、首尾及び寫本の下半部を缺く殘片に、1行17字で5行ほど内容が書寫されており、凡そT85-1389b17~22に相當するという。

14、禪門經¹¹(Dx2493(M2596)、Dx2555の2種)

俄藏敦煌遺書における『禪門經』関係の寫本については、かつて筆者が俄藏拙稿①(38~39頁)で「禪門經序」(擬)と位置づけたDx6005を言及したが、『禪門經』そのものに関する報告は皆無であった。今回の調査では、初めて『禪門經』殘片の存在を確認できた。すなわち、Dx2493、Dx2555の2種である。現在、この2種の殘片はすでに結合され、寫眞2枚の状態で『俄藏敦煌』(9、230~231頁)に收められている。

Dx2493(M2596)については、『敍録』に下記のように著録されている。

殘卷、52.5 × 20.5。手卷上部、首尾缺。2紙、不全。31行、不全。紙色灰褐、紙面粗糙、網格大。各行爲紙折行。天頭1釐米。楷書、字體潦草。無題字。(9-11世紀)(下卷、355頁)

これによれば、Dx2493(M2596)は首尾と下半部を缺く2紙からなる横52.5cm × 縦20.5cmの殘片に、楷書體で約31行にわたって文字が書寫されているという。その内容については、『俄藏敍録』(212~213頁)では「未檢出」としているが、筆者が精査した結果、これが紛れもなく『禪門經』の1殘片なのである。その内容を示せば、以下の通りである。

前缺

- 1 □ … □ 苦善男[子] □ … □ /
- 2 □ … □ 法之藏 □ … □ /
- 3 □ … □ 隨順生死輪迴惡道 □ … □ /
- 4 □ … □ 法諸佛趣何等法而 □ … □ /
- 5 □ 男子禪定惠爲究竟門不 □ … □ /
- 6 學如是得大福德莊嚴其身 □ … □ /
- 7 言世尊此禪要門從何而 □ … □ /
- 8 如其无者云何令我而得知見佛 □ … □ /
- 9 禪定院内照開解即大乘門 □ … □ /
- 10 性究竟本空云何問言而有 □ … □ /
- 11 見何以故諸佛如來見非見故棄 □ … □ /
- 12 世尊六根躰相從何而生若因 □ … □ /

¹¹ 『分類目錄』では、『禪門經』のテキストとして① S5532、② P4646、③ BD3495(露95、北8224)、④ BD7333(鳥33、北8225)、⑤ BD9649(湯70)、⑥ BD12226(臨2355)、⑦ 浙敦188(浙博163、中散1147)の7種を紹介している。

- 13 虚幻不實四大定有得名為根如是□ … □ /
 14 根耶唯願說佛言善男子能作是□ … □ /
 15 受身四大六根手(?)相因待妄繫□ … □ /
 16 性實空無有善男子信如是法□ … □ /
 17 諸蓋菩薩白佛言世尊云何為禪□ … □ /
 18 □果不見善可脩惡可斷佛言善□ … □ /
 19 脱不可思議何以故非无因果如外道空□ … □ /
 20 菩薩摩訶薩了无因果得大果報何□ … □ /
 21 同於虚空實性不空善惡緣本无□ … □ /
 22 共居止若能如是清淨觀行當知此人行□ … □ /
 23 棄諸蓋菩薩白佛言世尊諸佛如来□ … □ /
 24 安禪寂滅能生耶智若言禪定而發□ … □ /
 25 復不名定云何禪定而有利智善男子息□ … □ /
 26 生寂滅安禪即無漏智譬如有人愛樹花□ … □ /
 27 種已尋復翻動為數動故牙莖(?)不生如□ … □ /
 28 出善男子一切衆生亦復如是求佛聖智要須□ … □ /
 29 壞其善根何以故悟性安禪即无漏□ □ 諸蓋□ … □ /
 30 尊如餘經中或說四禪十二觀門□ … □ /
 31 □ … □ □ 一切衆生根性差□ … □ /
 後缺

15、佛說法句經(以下、『法句經』)(Dx3220A、Dx4219、Dx4653、Dx5312 の 4 號)

『法句經』(偽經)については、敦煌遺書や吐魯番漢文文書などにより複数の寫本が出現していることは¹² 廣く知られている中、意外にも俄藏敦煌遺書に

¹² 『分類目録』では、『法句經』のテキストとして① S33、② S837、③ S2021、④ S3968、⑤ S4106、⑥ S4666、⑦ S7614、⑧ P2308、⑨ P3922、⑩ P3924、⑪ BD2580(歳 80、北 8665)、⑫ BD3123(騰 23、北 8664)、⑬ BD3417(露 17、北 8301)、⑭ BD3421(露 21、北 8668)、⑮ BD3424(露 24、北 8669)、⑯ BD3645(爲 45、北 8666)、⑰ BD3646(爲 46、北 8667)、⑱ 北大 D103、⑲ 津圖 67(中散 2044)、⑳ 臺灣國立中央圖書館本 119 丙(中散 4119B)、㉑ 書道博物館本 90(中村不折氏舊藏本、日散 1090)、㉒ 杏雨書屋本 285(李氏鑿氏舊藏本 447、日散 285)の 22 種と、吐魯番漢文文書の㉓ 出口常順氏舊藏吐魯番文書 234 の 1 種、計 23 種を紹介している。さらに前掲拙稿「英藏敦煌文獻から發見された禪籍について—S6980 以降を中心に—(2)」(0159-0160 頁)で S8495、S12213 の 2 種を、前掲拙稿「ドイツ藏吐魯番(トルファン)漢語

おけるその存在が明らかとなったのはつい最近のことである。すなわち、趙鑫曄氏が「《俄藏敦煌文獻》第 11 冊佛教疑偽經寫卷跋録」(『繼承與創新：慶祝西南大學漢語言文獻研究所建立三十週年論文集』重慶、西南師範大學出版社、2014、206 頁)と題する論文を發表されたのである。この論文で趙氏は、Dx4219、Dx4653 の 2 種が元來同一の『法句經』寫本に屬する殘片と特定した上、兩者による寫本の復元を試みられた。復元後の Dx4219+Dx4653 の殘片の内容は、凡そ T85-1434b8~15 に相當するという。その後、蘇思遠氏が「俄藏敦煌文獻佛教疑偽經跋録」と題する(西南大學 2017 年度、84 頁)修士論文において Dx4219、Dx4653 のほか、俄藏敦煌遺書の中から『法句經』のものとして新たに Dx3220A、Dx5312 の 2 種の存在を報告されている。

それでは、蘇氏の記述に基づいて、俄藏敦煌遺書で確認できた各種『法句經』殘片の概要を紹介しておこう。まず、Dx3220A については、

本卷存 9 行、首尾及上下端皆殘、楷書、烏絲欄、行抄 17 字。起於“合掌作禮□□面立”，訖於“功德”。(84 頁)

といい、その内容は「普光莊嚴菩薩等證信品第八」の一部で、凡そ T85-1434b7~b14 に相當するとしている。

Dx3220A

前缺

- 1 □ … □合掌作禮□□面立。□ … □ /
- 2 □告普光莊嚴菩薩言□ … □ /
- 3 之世尊氣力安不。汝涉遠來得□ … □ /
- 4 莊嚴菩薩前礼佛足、答言、時我□ … □ /
- 5 色力更无他也。慇懃囑者致問无□ … □ /
- 6 中文殊師利菩薩、謂普光莊嚴□ … □ /
- 7 子、汝等遠來何所諮請。普光□ … □ /
- 8 文殊師利言、大德、我承世□ … □ /
- 9 □ … □功德□ … □ /

後缺

文書から発見された禪籍について(2)」(014-016 頁)で②出口常順氏舊藏吐魯番文書 234 と見事に結合可能な吐魯番漢文書の Ch1554(T II 1217)の 1 種をそれぞれ紹介している。

次に D_x4219+ D_x4653 の 2 種については、

趙鑫曄(前掲趙氏論文、筆者注)已將此二卷綴合。二卷皆爲楷書，烏絲欄。

D_x4219 存 7 行，首尾及上端皆殘。起於“光”，訖於“識”。

D_x4653 存 2 行，首尾及上下端皆殘。起於“善男子汝發來時”，訖於“□無勞□”。(84 頁)

といい、復元後の内容も D_x3220A と同様に「普光莊嚴菩薩等證信品第八」の一部で、凡そ T85-1434b8~b15 に相当するとしている。

そして D_x5312 については、「本卷爲包首，楷書。左端有包首題“佛說法句經一卷”，“佛”字上方有一類似“八”字的符號。」(84 頁)としている。

16、金剛三昧經¹³(D_x14519、D_x16681 の 2 號)

俄藏敦煌遺書には『金剛三昧經』の残片も含まれていることが王孟氏の『敦煌佛教疑偽經綜録』(上海師範大學 2016 年度、167~168 頁)と題する學位請求論文や『俄藏敍録』(838、897 頁)などによって明らかにされている。すなわち、D_x14519 と D_x16681 の 2 種である。

まず D_x14519 については、『俄藏敍録』(838 頁)によれば、1 行 2~3 字で 5 行ほどの内容が残存している残片で、その内容が『金剛三昧經』本覺利品の一部で、凡そ T9-368b3~7 に相当しているという。

次に王氏前掲論文でその存在¹⁴が言及された D_x16681 については、『俄藏敍録』(879 頁)によれば、わずか 5 文字しか残存していない 1 行の破片に過ぎなく、その内容が『金剛三昧經』入實際品の一部で、凡そ T9-369b9 に相当しているという。

以上の如く、俄藏拙稿①②の發表後、新たにその存在が確認できた俄藏敦煌禪宗文獻を概観してきた。これらの禪宗文獻を一覧すれば、以下の通りである。なお、今回の調査で筆者が新たに見出した 13 號、14 種の禪宗文獻については、

¹³ 『分類目録』では、『金剛三昧經』のテキストとして漢文寫本の① S2368V、② S2445、③ S2610、④ S2794、⑤ S3615、⑥ S8246、⑦ BD593(荒 93、北 6282)、⑧ BD4281(玉 81、北 6283)、⑨ 杏雨書屋本 147(李氏鑒氏舊藏本 315、日散 147)の 9 種を、木村隆徳「敦煌チベット語禪文獻目録初稿」(『東京大學文學部文化交流研究施設研究紀要』4、1980)では P.tib.623 チベット語寫本の 1 種をそれぞれ紹介している。

¹⁴ 王孟前掲學位請求論文、167 頁。

(80) 俄藏敦煌文獻中に発見された禪籍について (3)-2 (程)

その文書番號をゴシック體にした。

燈史類

1、楞伽師資記(Дx11901の1號)

語録類

2、蘄州忍和上導凡趣聖悟解脫宗修心要論(Дx3117の1號)

3、修禪要決四十五條(Дx8964+Дx8966+Дx8974の3號)

4、大乘五方便北宗(Дx4489の1號)

5、天竹國菩提達摩禪師論(Дx11668の1號)

6、頓悟眞宗金剛般若修行達彼岸法門要決(Дx11623R,Vの1號2種)

7、南陽和尚問答雜徵義(Дx9432の1號)

8、南陽和上頓教解脫禪門直了性壇語(Дx11587の1號)

注抄・偽經論類

9、註般若心經(江南禪師智融)(Дx6238の1號)

10、般若心經疏(資州詵禪師)(Дx1485、Дx6555の2號)

11、金剛般若經註(擬)(Дx2272B+Дx2281+Дx2316+Дx2444の4號)

12、佛爲心王菩薩說頭陀經(心王經註)(Дx16139の1號)

13、佛說法王經(Дx1109、Дx7105の2號)

14、禪門經(Дx2493+Дx2555の2號)

15、佛說法句經(Дx3220A、Дx4219+Дx4653、Дx5312の4號)

16、金剛三昧經(Дx14519、Дx16681の2號)

附記：

本稿は、「海外の研究者との連携による中國・日本における禪思想の形成と受容に関する研究」(令和2年度、國內共同研究〈代表者:東洋大學・伊吹敦〉)の研究成果の一部である。

最後に、本稿の作成に際し、啓發的示唆を數多く賜った上海師範大學教授の方廣錫先生と、同じく上海師範大學副教授の定源(王招國)先生に、それぞれ深謝を申し上げたい。

〈キーワード〉 俄藏敦煌遺書、敦煌禪宗文獻